

# 工業用水道事業の取組状況

## 1 現状と課題

7つの工業用水のうち、累積赤字を抱える静岡、中遠、西遠、湖西の4工水については料金改定を行った結果全て経常ベースで黒字となった。

一方で、富士川工業用水と東駿河湾工業用水は大口ユーザーの利用廃止により経営状況が悪化し、東駿河湾は平成30年度から富士川工水は令和2年度に単年度損益が赤字となった。特に富士川工水は令和2年度に大口ユーザー2社が利用を廃止したため、契約水量が前年度と比較して約8割減少した。

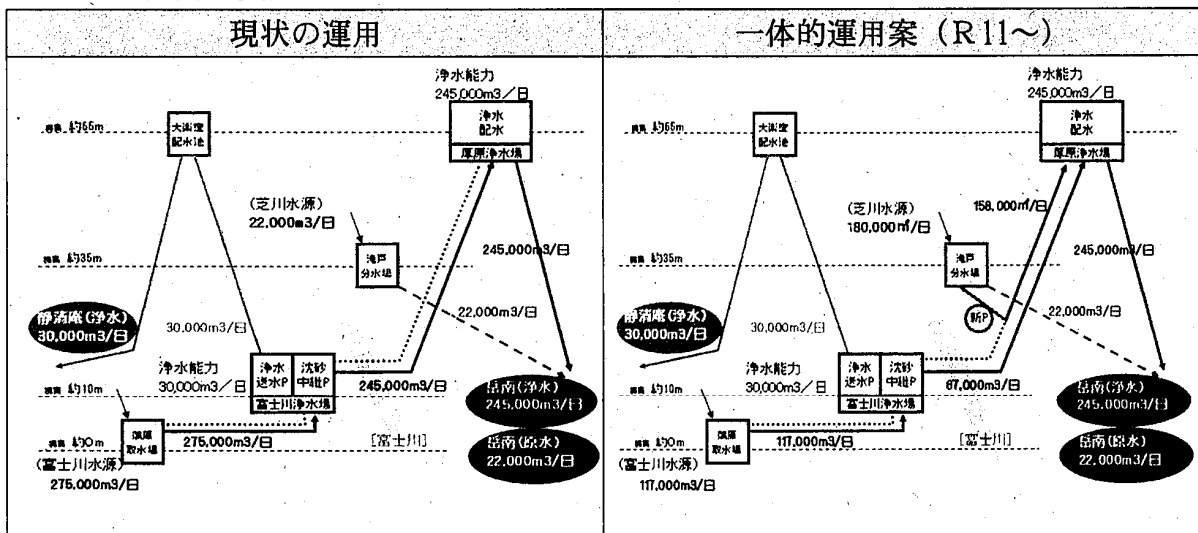
今後、本格的な更新時期を迎え更なる経営状況の悪化が危惧される。

## 2 富士川工業用水と東駿河湾工業用水の一体的な水運用

濁度の低い富士川工業用水の余剰水を有効に活用することにより維持管理費を削減することを目的に、両工業用水を一体的に運用する方法を検討した。

「トータルコストの削減」、「水源の複数化による断水リスクの回避」、「原水供給の維持」、「将来の更なる水運用の変更への柔軟な対応」の4つの視点で比較検討を行ったところ、6案の中で原水供給を維持しつつポンプ場を設置し富士川工水の余剰水を最大限活用する案が最も優れた案となった。この案についてユーザーへの意見照会を行い、賛同を得たことから正式案として決定した。

### (1) 水運用の変更



※ポンプ場新設までの間、令和6年度から現状の施設で富士川工水の余剰水を活用する暫定運用を実施予定。

### (2) コスト削減効果

項目	削減額
芝川水源の水をブレンドすることによる上水コストの削減	9,245 百万円
富士川浄水場の動力費の削減 (取水ポンプ、中継ポンプ)	6,585 百万円
施設更新費の削減による減価償却費の減	3,124 百万円

### (3) 水運用の変更に向けたスケジュール案

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
運用案の検討	→									
ユーザー説明会	●									
水運用の変更 (暫定)			調査・設計・工事			運用開始				
水運用の変更 (恒久) ＜新ポンプ場整備＞			土地取得	調査・設計			工事			運用開始
事業認可の変更		→								
水利権許可の変更		→								

### 3 事業統合と料金改定

一体的運用によるコスト削減のみでは経営改善が図れないため、現状での経営状況の悪化を阻止するため、料金改定を実施する。

また、2つの水源を活用するためには1つの事業とする必要があることから、料金改定に合わせて事業統合を行う。

#### (1) 料金改定案の概要

時 期	令和4年4月分から適用 (予定) (料金算定期間：R4～R8の5年間)							
料金単価 [円/m <sup>3</sup> ] (税抜)	区分	工水	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	契約水量	共 通	現行水量維持	見直し後水量				
	基本料金	富士川	6.8	11.0				
		東 駿	13.0	17.0				
	使用料金	富士川	0.5	1.4				
		東 駿	3.0	4.6				
	超過料金	富士川	14.6	24.8				
東 駿		32.0	43.2					
<small>※富士川工水については、今回の料金算定期間で収支均衡を図ろうとすると大幅な値上げが必要となることから、水運用の変更後に収支が均衡する見込みとなる料金単価とする。</small>								
契約水量 見 直 し	<ul style="list-style-type: none"> <li>見直し後水量：現契約水量の25%まで減量可</li> <li>最低契約水量：100 m<sup>3</sup>/日 (給水規程) を維持 (雑用水を除く)</li> <li>契約水量の基準年 (基準水量)：令和4年 (見直し後水量) とする</li> </ul>							
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね5年 (標準料金算定期間) ごとに料金見直しを予定</li> <li>今後も料金改定に合わせて水量の見直しを検討</li> </ul>							

(2) 料金改定による収支見通し

富士川工水単独では単年度損益を黒字化することは困難であるが、事業統合後は5年間の通算で収支が均衡する見込み。

○富士川工水

(単位：百万円)

項目	R4	R5	R6	R7	R8	期間計
給水収益	98	99	98	98	98	491
その他収益	27	25	14	14	14	94
収益計	126	123	113	113	113	588
費用計	232	220	165	154	142	913
当年度損益	▲106	▲96	▲52	▲41	▲30	▲325

○東駿河湾工水

(単位：百万円)

項目	R4	R5	R6	R7	R8	期間計
給水収益	2,260	2,266	2,260	2,260	2,260	11,306
その他収益	31	28	40	34	34	167
収益計	2,291	2,294	2,300	2,294	2,294	11,473
費用計	2,164	2,247	2,241	2,241	2,204	11,097
当年度損益	128	46	59	53	91	377

○事業統合後の損益

(単位：百万円)

項目	R4	R5	R6	R7	R8	期間計
当年度損益	22	▲50	7	12	61	52

(3) スケジュール案

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ユーザー説明 (改定案の提示)			●									
同意の取得			←→									
不同意ユーザー 訪問、同意取得				←→								
経済産業省協議 (申請・承認)						←→						
条例改正手続き										←→		
契約変更手続き												←→

